ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH
1998年3月5日 第602号

金澤北ロータリークラブ

金沢 北郊 散策

心　蓮　社

山ノ上町４丁目

寛永14年（1637）利常公より2000坪を賜り現在の地に建てられた。文化12年、大衆免石屋小路からの出火で類焼し堂守、寺宝のほとんどを焼失した。庭園は築山式で遠州流、江戸期の造り。ツゲ、ツツジを鶴亀にみなし朱塗りの太鼓橋を配し桃山風の心字池など趣がある。

寺宝に国重文「阿弥陀三尊来迎図」、又蕉門十哲の一人俳人、立花北枝の墓がある。

「香木」との出会い

日本画家　平木孝志氏

私は、学生の頃から、日本の文化や歴史が好きで、20代の頃から、正倉院展はよく行きました。その都度、香木が出展されていました。いわゆる、琵琶(びわ)や鏡、漆(うるし)の物は、見れば分かるのですが、何故、このように大きな香木が鎮座ましましているのか不思議で仕方ありませんでした。昭和57年、今から15年前に、「蘭奢待(らんじゃたい)」という長さ1m56cm。中はすっぽり空洞になった香木が展示されました。たまたま、今年も、15年ぶりにその「蘭奢待」が出展され話題となっています。この「蘭奢待」は、香木の王様といわれています。

最初に日本に香木が伝わったのは、日本書記の中に、推古3年、聖徳太子の時代に、淡路島に大きな流木が漂着し、それを島民が薪にして燃やしていました。ところが、この木からとてもいい香りがしました。すぐさま島民は、それを朝廷に献上しました。伝説によれば、聖徳太子がそれで観世音菩薩を彫って、法隆寺に納めたという話があります。そのうち、聖武天皇が東大寺の正倉院に、大きな「蘭奢待」や、その他多数の香木を納めるわけです。この「蘭奢待」が、何故有名なのかといいますと、時の権力者、足利義政、織田信長、明治天皇が、開けてはならない正倉院の扉を開け、その「蘭奢待」を切断し、家来に分け与えたという伝承が残っているからなのです。私は、何故、時の権力者が、正倉院の扉を開け、香木まで切断したのか、不思議で仕方なく、それが、香木との出会いでした。

香木は、非常に贅沢なもので、一度柱(た)いたらなくなってしまう、そのようなやっかいな世界が香道なのです。

香木の産地は、伽羅(きゃら)（ベトナム）、羅国（タイ）、真那蛮（ビルマ）、真那賀（マレーシア半島）、佐曽羅（サソリー）、寸門多羅（スマトラ諸島）の六国とされています。

香木の香りは、五味(ごみ)といって、辛い、甘い、酸っぱい、塩辛い、苦いの、辛甘酸鹹苦(しんかんさんかんく)と分けられます。

香木が、何の木なのかという事はあまりはっきりしていません。常緑樹という木は木でも、木の一部の組織が変わったところがあります。人間に例えると、ガンのような部分が、時を経て、健康なところは、腐っても、組織の変化したところは土中に残り、香木となって日本や中国に運ばれたのです。

最後になりますが、香を聞きわける修練は、精神を統一して、自分の判断力を養うということに役立ちます。香というのは、日本の和歌や源氏物語の、いわゆる伝統文学と結びついて、幽玄な世界です。そして、香を聞く作用は、脳を刺激し、見る、聞く、味わう、触れるという諸作の中で、創造力を高めてくれます。皆さんにも、ぜひ、名のある、歴史のある名香を聞く機会を持たれたらと思います。　（文責　坂口　幸市）

英会話と私

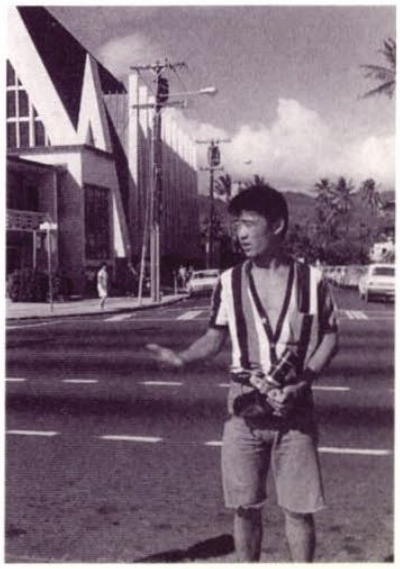
玉田善明

思えば31年前、19歳の夏、私は羽田国際空港から、ジェット機に乗って初めての外国旅行に国際生活体験日本委員会のメンバーとしてアメリカに旅立ちました。角刈り頭の、それは可愛い青年でした。ちょっぴり不安で、何かが始まるという期待の入り交じった複雑な気持ちの私は、もう後戻りは出来ないのだと、自分に言い聞かせての旅立ちでした。

その時から私のたどたどしい英会話との付き合いが始まりました。天性の感を99％最大限に発揮した会話はコミュニケーションが成立すれば良いというだけの、目的指向のみのシンプルなものです。未だにベースは変わってはいません。2ヶ月程の生活体験の後は、フィジー（当時は英国領）のまぐろ漁業船員の通訳？のバイトで結構稼げた事を懐かしく思います。

男は度胸、女は愛敬とは良く言ったもので、会話イコール度胸プラス感。これでいけば大体の事は理解可能、不可能はパスして深刻に考えない。この点私の性格が多大の貢献をしていることに成りますが、決していい加減ばかりではありませんので誤解の無いように。

大学を卒業後入社した会社はアメリカ系企業で社長はアメリカ人。機械屋の私はアメリカ本社から送られてきた新製品の図面をJIS規格の図面に変更する仕事もしました。いい加減は通用しませんから会話から一歩離れると大変な目に会いました。何とかこなした、少し責任があり、少し責任の無い様な東京での20代のサラリーマン生活に別れを告げ金沢にてのごく普通の今の生活にどっぷり漬かり約20数年。思いもかけず仕事での外人相手の会話が必要に成ってきました。すっかり記憶の彼方に忘れ去っている英会話の3文字が現実に現れ青春の亡霊を垣間見る思いでした。しかし何と素晴しい事でしょうか、青春の記憶は少しぐらいの年月は飛び越して少々の事ならば十分にこなせる事を証明してくれました。ここでも度胸と感が絶対不可欠、最大の武器であることは間違いありません。唯その裏付けも若干の教養と言う、私には縁遠い部分で必要かと思われますが。



ボーダーレス時代、メガコンペティションと言われる今様の時代、益々国際共通語である英会話が必要です。しかし、尽きるところはその人それぞれが持ち合わせている人間性と教養が大切ではないでしょうか。私は英会話という技術面での出来、不出来よりもその裏側にある部分をより一層磨く努力をして行くよう心掛けて行きます。皆様にも今後とも宜しくお付き合い戴きますようお願い致します。

第1203回例会

◆2月19日（木）はれ　12：30～13：30　　松魚亭

1．講話
　会員　勝田浩之君
　“そろそろ目覚めろ”

2．出欠
　出席52名　欠席23名　出席率69.33％
　ビジター21名

3．来訪者（敬称略）
　金　沢ＲＣ　佐藤満雄　池田東史雄　大友佐俊
　　船越和博　稗田征二　蚊谷八郎
　金沢東ＲＣ　藤田陽一　浦田　進　飯塚幸宏
　　中橋秀夫
　金沢西ＲＣ　成瀬　厳　虎竹雄二　坂井美紀夫
　金沢南ＲＣ　竹山昭夫　辻　　弘　中谷啓一
　　三野　裕　朝倉宏三
　香林坊ＲＣ　野手有二　石村都喜雄
　みなとＲＣ　北尾強也

4．幹事報告
　○夜間例会　2月26日（木）18：30～　松魚亭

5．ニコニコボックス
　石丸君　新しい金沢百万石ＲＣのために、百万円をありがとうございます。
　中村君　おかげ様、19ヵ年皆出席、健康に感謝しております。
　　合計　8,000円（累計　843,000円）

第1204回例会

夜間例会

◆2月26日（木）はれ　18：30～20：30　　松魚亭

1．講話
　漆芸家　市島桜魚氏

2．出欠
　出席40名　欠席35名　出席率53.34％
　ご夫人10名

3．ニコニコボックス
　大場君　私の出版記念会に、沢山の皆様のご出席を賜わり、有難くお礼申し上げます。又、本日市島桜魚が講話を致しますので。
　浅野君　市島さんをお迎えして。今晩は楽しくすごさせて頂きます。
　乙村君　市島桜魚さんを今晩の講師にお迎えして。大場先生の出版祝賀会の盛会おめでとうございました。
　長谷川君　市島桜魚さんをお迎えしての今晩の卓話を楽しみにしています。
　合田君　皆さんお久し振りです。
　　合計13,000円（累計856,000円）

2月クラブ日誌

12日（木）	2月定例理事会	松魚亭にて
15日（日）	都市連合会	加　賀にて
26日（木）	夜間例会	松魚亭にて

第22回職場親善球技大会のお知らせ

春の足音が、もうすぐそこまでやって来ています。さて恒例の、金沢北ＲＣ主催の職場親善球技（テニス）大会を、下記の要領にて開催致します。今回は全くテニスの経験のない方も、どうぞご参加下さい。ベテランのテニスコーチのレッスンが受けられて、充分に楽しめると思います。多数の参加をお待ち申し上げます。

記

日時：3月15日（日）午前9時～12時
場所：スポーツクラブV10
　（泉野町☎244-3434）
種目：硬式テニス　ダブルス（ペアは当方でアレンジします）
参加資格：金沢北ＲＣ会員及びご家族、会員の職場の方、会員の知人
参加費：無料
申込期日：3月9日（月）
申込み先：金沢北ＲＣ（FAX224-2882）

- ロータリー会員は午前8時30分、選手は8時45分迄に集合して下さい。
- 室内コートですので、きれいなシューズをご持参下さい。
- テニスラケットをお持ちでないかたには、お貸し致します。
- 職業奉仕委員、理事・役員、新会員の方は必ずご出席下さい。
- 駐車スペースは充分にあります。

例会日：木曜日　12：30～13：30
例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭
　TEL〈076〉252-2271　FAX252-2273
事務局：金沢市尾山町9－13・金沢商工会議所
　TEL〈076〉222-2525　FAX224-2882
会長：山上啓介　幹事：松本範夫
広報委員長：米澤修一　　会員79名